

よく創る

○令和2年度の学校経営の重点

「未来につながる力を育てる」

～小中一貫教育の推進～

○具体的な取組と達成目標

☆生徒の「33 SKILL」を育む **教職員の「3 Action」**

A1:研究する～「徹底した授業改善と教材研究」

A2:指導する～「生徒のそばで、教え、導き、気づかせる指導」

A3:場をつくる～「生徒の経験値を高める場の設定」

☆「33 SKILL 自己評価」で「できた」と答える生徒を **「8割以上」**にします

北陵中は
全教育活動で
生徒に
「33 SKILL」
を身につけさせ
ます！



主体的に学ぶ力を育て、高める

S1.立腰ができる S2.正しい言葉遣いができる S3.学ぶ意味を理解することができる
S4.文章を正しく「読み取る」ことができる S5.他人の考え、思いを、「聞くこと」ができる
S6.自分の考え、思いを、「持つこと」ができる S7.自分の考え、思いを、「書くこと」ができる
S8.自分の考え、思いを「まとめること」ができる S9.自分の考え、思いを、「話すこと」ができる
S10.自分の考え、思いを、「表現すること」ができる S11.自分の考え、思いを、「深めること」ができる

コミュニケーション能力を向上させ、社会性を高める

S12.気持ちの良い挨拶をすることができる S13.マナー、モラルを大切にすることができる
S14.感謝をすることができる S15.周りの人たちに敬意を払うことができる
S16.責任感をもって物事に取り組むことができる S17.自分を大切にすることができる
S18.相手意識に立つことができる S19.多様性を認めることができる
S20.様々な人の努力を認め、共感することができる S21.他人と協力し、達成感を得ることができる
S22.自分のキャリア、生き方を考えることができる

集団としての自治的能力を育て、高める

S23.真面目に人と関わろうとすることができる S24.時間を意識して行動することができる
S25.場をきれいにすることができる S26.話し合いに積極的に参加できる
S27.学級・学年に所属感を持つことができる S28.あきらめずに、強い心を持ち、努力することができる
S29.挑戦する心を持つことができる S30.危険予測・回避の能力を高めることができる
S31.ストレス対処力を身につけることができる S32.生徒会活動に積極的に参加することができる
S33.地域に貢献することができる

本校が開校して3年が過ぎ、「生徒に自信と誇り」を持たせることを第一に、保護者、地域の温かな支援のおかげで、着実な歩みを進めることができました。令和3年度には中学校の学習指導要領が改訂となり、教育内容も新たな10年先をみすえたものとなります。子ども達が社会人として生きる10年後の世界は、人口減少がより深刻化し、人工知能の急速な発達により、今の私たち大人が全く予測のできない状況になっていると思われます。子ども達が未来を生き抜くために必要な力を身につけさせることが、今、学校に求められている最大の責任です。そのために、北陵中学校は高島小学校、手宮中央小学校との小中一貫教育をさらに進め、子ども達に明確な力を育み、小中9年間に責任を持つ学校として、前に進みます。



小樽市立北陵中学校

〒047-0045 小樽市清水町5番1号

TEL: 0134 (24) 5500 FAX: 0134 (24) 5501

令和 2 年度 北陵中学校 学校経営の全体構想

統合して 3 年が過ぎ、成果も課題も明らかになってきた今、私達が未来に生きる子ども達に当たり前に身につけて欲しい力、教えるべきことを「33 SKILL」として明確にし、小学校とも連携しながら、中学校 3 年間でこの力を養います。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

校訓
よりよく創る

令和 2 年度 学校経営の重点 「未来につながる力を育てる ～小中一貫教育の推進～」

1：教育目標		
小樽の未来をつくる 北陵生の育成		
2：目指す生徒像		
深く学び、考え、 表現できる生徒	豊かに人とつながり、 思いやりのある生徒	たくましく心身を鍛え、 自らを律する生徒
3：目指す生徒像につなぐ生徒の「33 Skill」※「できる」と回答する生徒を 8 割以上を目指す。		
主体的に学力を育て、高める	コミュニケーション能力を向上させ、社会性を高める	集団としての自治的能力を育て、高める
1 年生の重点 SKILL		
S1.立腰ができる S2.正しい言葉遣いができる S3.学ぶ意味を理解することができる	S12.気持ちの良い挨拶をすることができる S13.マナー、モラルを大切にすることができる S14.感謝することができる	S23.真面目に人と関わろうとすることができる S24.時間を意識して行動することができる S25.場をきれいにすることができる
2 年生の重点 SKILL		
S4.文章を正しく「読み取ること」ができる S5.他人の考え、思いを、「聞くこと」ができる S6.自分の考え、思いを、「持つこと」ができる S7.自分の考え、思いを、「書くこと」ができる	S15.周りの人たちに敬意を払うことができる S16.責任感をもって物事に取り組むことができる S17.自分を大切にすることができる S18.相手意識に立つことができる	S26.話し合いに積極的に参加できる S27.学級・学年に所属感を持つことができる S28.あきらめずに、強い心を持ち、努力することができる S29.挑戦する心を持つことができる
3 年生の重点 SKILL		
S8.自分の考え、思いを「まとめること」ができる S9.自分の考え、思いを、「話すこと」ができる S10.自分の考え、思いを、「表現すること」ができる S11.自分の考え、思いを、「深めること」ができる	S19.多様性を認めることができる S20.様々な人の努力を認め、共感することができる S21.他人と協力し、達成感を得ることができる S22.自分のキャリア、生き方を考えることができる	S30.危険予測・回避の能力を高めることができる S31.ストレス対処力を身につけることができる S32.生徒会活動に積極的に参加することができる S33.地域に貢献することができる
4：目指す生徒像につなぐ教職員の「3 Action」 ※①～③ 学習指導要領「育成を目指す資質・能力の 3 つの柱」		
A1:研究する～「徹底した授業改善と教材研究」 ① 何を理解しているか、何ができるか（知識・技能）		
A2:指導する～「生徒のそばで、教え、導き、気づかせる指導」 ② どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）		
A3:場をつくる～「生徒の経験値を高める場の設定」 ③ 理解していること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）		
5：目指す生徒像につなぐ主な実践		
1：学力向上 ①小中 9 年間を通した学力の向上 ②教師の授業力の向上 ③中 1 ギャップ解消を目指した小学校との授業等の交流 ④加配を活用した個別指導の充実 ⑤学習室「北陵塾」の活用の工夫 ⑥計画的なキャリア教育、進路指導の充実 ⑦教師、生徒による ICT 機器の効果的な活用 ⑧学校図書館と授業の積極的な連携 ⑨「NIE」の取組による国語力の向上 ⑩各種検定（英検、漢検等）の資格取得の推奨 2：特別支援教育の充実 ①合理的配慮に基づく支援の充実 ②特別支援教育支援員との連携・充実 ③校内支援委員会の機能向上 ④ 2 小学校との交流推進 ⑤関係機関の積極的な活用・連携 3：家庭学習の定着 ①小学校と連携、接続を踏まえた家庭学習の指導 ②小樽市のルール「おたるスマート 7」の指導	1：生徒指導の充実 ①小中連携した生徒指導 ②教職員の指導の在り方を示す生徒指導の推進 ③学校組織としての共通理解・共通行動の徹底 2：道徳教育の充実 ①道徳の授業研究 ②ふるさと教育の推進 ③情報モラル教育の徹底 3：いじめ問題、不登校等への対応 ①所属感を高める学級経営、教科経営の充実 ②「はつと」などのデータを活用した教育相談の充実 ③スクールカウンセラー等を活用した研修 ④関係機関との連携 ⑤小樽市の取組への積極的な参加 4：読書活動の推進 ①朝読書の取組 ②図書館司書と連携した生徒会図書委員会活動の充実 ③小学校及び地域、関係機関等と連携した読書活動の推進 5：生徒会活動の活性化 ①学級活動を基盤とした生徒会活動の充実 ②PTA 活動と連携した取組 ③ 2 小学校の児童会、地域との交流・連携 ④小樽市の取組への積極的な参加	1：体力向上のための体育授業の工夫・改善 ①小中 9 年間を通した体力の向上 ②日常の基礎体力作り ③陸上大会の実施 2：健康、安全教育の充実 ①地域と連携した防災教育の推進 ②安全教育の徹底 ③健康教育の推進 ④命を考えさせる場面の設定 3：生活習慣の改善 ①食育指導の工夫 ②スマホやゲーム等の使用と健康を考えた小中一貫指導 4：心と体を鍛える部活動の推進 ①目標を明確にした主体的な活動 ②本校ガイドラインに基づく休養日等の設定 5：社会につながる人間性の涵養 ①時間を守り、場を清め、礼を正す指導 ②地域の行事、ボランティア等を通じた社会貢献活動

裏面は「33 SKILL」評価表